

広報

ひの6

2007
No. 641

かけっこ日和。

■地域がひとつに。みんなでファイト！

6月3日、真住運動会が町青年の家（濁谷）で開かれ、真住地区の子どもからお年寄りまで多くが参加、リレーや綱引き、花吹雪などにさわやかな汗を流しました。また、終了後の慰労会では豚汁や焼肉に舌鼓を打ち、親ぼくを深めました。



数か月の作業のすえ姿を現した黒坂城の石垣。黒坂駅からも確認できる

地元の誇り、 黒坂城を守りたい

黒坂城跡再発見活動グループ「黒坂鏡山城下を知ろう会」

城下町、黒坂のまちを見下ろすようにそびえていた黒坂城。

今では建物もなく、うっそうと木が茂る城跡にその痕跡を残すのみ。人々の記憶からもだんだんと失われつつあります。

そんな中、まちの歴史遺産である黒坂城をなんとか保存しようと、まちの有志によるグループ「黒坂鏡山城下を知ろう会」による

再発見活動が続いています。

6月9日に行われた作業の様子を取材しました。



切り出した木や竹を手分けして運び出す

▼築城の歴史



当時の黒坂城（県立博物館蔵）

慶長15（1610）年、伊勢亀山の領主、関一政が黒坂の地に転封となり、その居城として同17（1612）年に黒坂城の建設が始まりました。

黒坂城（鏡山城）が建てられていたのは、現在の日野高校黒坂校舎グラウンド山手側の一帯で、黒坂から下菅、下黒坂が一望できる所に位置しています。

城の建設当時、現在の黒坂は原野で住む人もなかったと言われており、城の建設に合わせて城下町として

黒坂のまちもつくられていきました。その名残は、まちを南北に貫く玉島街道や、碁盤の目状に整備された道路など、現在の黒坂のまちにも残っています。

黒坂城は慶長19（1614）年に完成、関氏の入城により黒坂は日野郡の中心地として発展していきました。

忘れられかけた城の記憶
住民の手で再発見を

時代は移り、城跡付近が現在のグラウンドに整備されるなど、城の存在を物語るものや城跡をよく知る人も少なくなり、辺りは竹やヒノキに覆われてしまっていました。

「そんな中、なんとか城跡を調査・保存したいと、平成18年3月から町ボランティアセ

ンターと住民有志による石垣付近の草刈り・伐採作業が始まりました。

当時作業を行ったのは黒坂住民を中心とした町民ボランティア数人。月2回程度の作業でも、石垣が姿を現すまで伐採するのに5か月程度がかつたとのこと。

城を囲んでいた石垣は、原型をとどめているものは少なく、多くは自然災害などで崩れているものがほとんど。伐

採には、風通しを良くして土が柔らかくなるのを防ぎ、石垣が崩落しないようにする目的もあります。

この6月には住民が中心となって、再発見活動を行うグループ「黒坂鏡山城下を知ろう会（牧智也会長）」を結成し、9日の作業には、会員ら9人の住民ボランティアが参加しました。

伐採した竹の枝切りをしていた長内利江さん（黒坂）は、「外に出る作業は気分転換になるし楽しみ。しゃべって作業すれば2時間はあつという間。いいストレス解消になりますね」と作業を楽しんでいる様子。



作業初期から関わっている長内さん

大工の宇田春男さん（黒坂）はチェンソーで伐採に専念。「子どものころはよくこの城跡で遊んでいました。当時はこんなに木も生えておらず石垣もきれいに見えていました



宇田さんは大工の経験を生かして参加

よ。今はグラウンドになっていますが昔は沼地で、グラウンド整備のときもよく覚えています。今は気が向いたときに短時間でも伐採作業をコツコツと続けています」と話します。

切り出した木を利用して作業道を作っていた「知ろう会」事務局の西古尚史さん（黒坂）は、「私が子どものころは城跡は畑になっており、私にとつてはその下が遊び場でした。去年から作業に参加しましたが、石垣が顔を出したとき

は、私が子どものころは城跡は畑になっており、私にとつてはその下が遊び場でした。去年から作業に参加しましたが、石垣が顔を出したとき



自作の杭を打ち込む西古さん

▼ボランティア募集

「黒坂鏡山城下を知ろう会」では、黒坂城跡の伐採・草刈りを手伝っていただけるボランティアを募集しています。

趣旨に賛同いただける人ならどなたでも参加できます。

作業は主に月1回～3回程度ですが、参加できるときだけの参加でかまいません。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

■申込み・問合せ
日野町ボランティアセンター（電話 74-0117）
または、日野町文化センター（電話 72-1300）

根雨公会堂の思い出

杉井久子さん（根雨）



昔の記憶をたどりながら話す杉井さん

根雨の歴史を見続けて
■いつから根雨公会堂の管理人を始めたんですか
私が50歳のときから当時公会堂の横にあった管理棟に移

り住んで、管理人を20年務めました。当時の公会堂は、いろいろな会議や催し物に使われていて、選挙のときは開票所にもなっていましたね。私が女学生のころはひんぱんに

■聞くところによると、杉井さんは昔演劇をされていて名役者だったとか
女学校のころ、何人かで集まって「忠臣蔵」などの芝居をしていました。
30代のころは、婦人会や女学校の同窓会で芝居を上演しました。演目は日本の歴史物で、「赤垣源蔵」では源蔵の兄を、「勧進帳」では弁慶を演じました。私は声が大きかったからいつも男役でしたね。
昔は、根雨に化粧をしてくれる人や宝塚出身で踊りを教えてくれる人、芝居の指導をしてくれる人などがいました。

映画会も開かれていたみたいです。時々は宴会もしていましたよ。後片付けが大変でしたけど、のんびりした時代でしたね。
管理人をしていたとき、公会堂の庭に花などを植えていました。今どうなっているのかが気になるので、今度久しぶりに上がってみようと思っています。とても楽しみです。

■本番は公会堂の舞台に机で花道を作って上演し、当時は娯楽も少なかったのでしょうか、客席はいつもいっぱいでした。せりふを覚えるのは大変でしたが、舞台上がって恥ずかしいと思ったことはなかったですね。

■長年根雨のまちにお住まいの杉井さんですが、昔の根雨のまちはどうでしたか
昔の根雨のまちはお店もたくさんあってにぎやかでした。今のJA日野支所のあた

りに牛市場があり、毎年牛市が開かれていました。そのときは出店が根雨のまちにもいっぱい出ていましたよ。また、商人宿があったり、遠くから日野川のアユを食べに来るお客さんがあったり、活気がありましたね。

■現在何か趣味はありますか
今は読書ですね。町図書館にも時々借りに出かけますよ。ありがとうございます



根雨公会堂から神社方面を望む（昭和15年）

根雨公会堂（現歴史民俗資料館）の管理人を長年務めていた杉井さん。ご高齢の今も元気で暮らしておられます。そんな杉井さんに、根雨公会堂のことや昔の根雨のまちのことなどについてお話を聞きました。

グループ討議で課題を出し合う 第3回日野町まちづくり町民会議

5月17日、第3回日野町まちづくり町民会議が町役場で開かれました。

テーマを3つに設定、グループごとに話し合う

今回の会議では、前回提案のあったグループ討議を行いました。今回は討議のテーマを、人づくり・自立政策推進（A班）、福祉・生活環境（B班）、産業・観光振興（C班）の3つに設定し、委員はそれぞれのグループに分かれて自分の思うことなどを自由に討議しました。

■A班の討議内容

A班では、行政や財政再建など、主に自立政策推進をテーマに話し合われました。主な意見

●このグループ討議を同じメンバーで何回か続けていけばどうか。少人数なので結論が出やすいと思う。結論が

ば他の班に変わっても良いし。

●愛と元気なまち、「このまちをどうするか」という具体的な目標が必要だと思う。予算が先になるといけない。役場は「予算がない」で終わってしまふ。町民が力を合わせてやっていくことに力を入れる。その具体的な目標がほしい。

●財政再建が一番であり、「してくれ、出してくれ」ではない。いらない。何でもしてくれという要望に応えればきりがない。

●「金がなくても、こうしたらできる」が大切。

●住民が頑張っていくテーマ、スローガンを掲げて自分たちも頑張りたい。

●何もしなければ4億8千万円の累計赤字になるが、自分たちが動いて3億円にするこ

とも必要。

●財政破たんした夕張市の状況を町民も知らない痛みがわからない。再建団体になつたらどうなるのか。

■B班の討議内容

B班では、元気な高齢者づくりなどについて話し合われ



少人数でざくばらんに気付いたことを出し合いました

ました。

主な意見

●集落ごとに集まって高齢者がお茶を飲む場所も少なくなつた。在部の人はまだ元気だが、町部の人は一層元気がなくなつたように感じる。

●老人会も年数回の活動はあるようだが日々の活動が少ないようだ。

●共通の趣味があればよいが家の外に出るにはきつかけが必要。

●町民体育祭にしても、出る地区と出ない地区がある。こういうのも交流の場の一つと思うのだが、参加できる雰囲気づくりが必要。

●役場が開いているばかばか教室に自治会として取り組んでいる。人が集まる方法としてばかばか教室への参加を広く呼びかけてみては。内容も盛りだくさんだし、良いきっかけづくりになると思う。

■C班の討議内容

C班では、まちの産業・観光振興などについて話し合

れました。

●農地の荒廃が今一番の問題。特に井手の維持管理が大変。

●水路組合の中で、外部にお金を払って管理委託に出そ

かという話が出た。シルバー人材センターやフリーターなどの活用はできないものか。

●老後の楽しみとして遊休農地を使って農業をしてみてもいいと思う。

●退職後の楽しみとしての農業の需要もあると思う。そうした人を誘致してはどうか。

●農作物のブランド化について、純粹の日野産米をブランド化し、インターネットで宣伝すれば。メディアの力は大

きい。

●大夢多夢ではスズハラモチをブランド化し、餅にこだわって取り組んでいる。町外の人にも喜ばれている。

●町の空いている土地に企業誘致できないか。町職員を一人企業誘致専門に配置し、町民とペアになってネットを立ち上げて全国にPRしてみたらどうか。

●日野町には観光資源はいっぱいある。今までは本気で考えてこなかったと思う。財政難の今がチャンスなのでは。

次回の町民会議は、7月26日に開かれる予定。今回と同じグループでさらに深く話し合われることになりました。

7月1日から

ごみ処理手数料を改定します

まちでは、7月1日からごみ袋・シールの料金と種類を改定します。

現在お使いのごみ袋・シールも使えますが、7月からは1枚20円の差額シールを貼ってごみを出してください。なお、差額シールを貼っていないごみは収集できません。

新しいごみ袋・シールは、町役場、役場黒坂支所、ごみ袋取扱店などで販売します。なお、現在の袋・シールの在庫がある間は差額シールとセットで販売しますのでご了承ください。皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

■問合せ 役場産業振興課（電話72-2101）



まちのシンボル・オシドリをあしらった新しいごみ袋

差額シールは現在販売中

差額

ごみ処理券(20円)

●平成19年7月からは、町指定の古いごみ袋・シールにこのシールを貼ってください。

■ごみ処理手数料改定一覧表

	旧区分	新区分	改正前 単価(円)	改正後 単価(円)
袋	可燃ごみ処理袋	可燃ごみ処理袋	300	500 (1袋10枚入り)
	可燃ごみ処理袋 (小)	可燃ごみ処理袋 (小)	200	400 (1袋10枚入り)
	不燃ごみ処理袋	共通処理袋	300	500 (1袋10枚入り)
	資源ごみ処理袋		300	
	ペットボトル処理袋		300	
	発泡スチロール製品 処理袋		300	
	蛍光管処理袋		300	
	乾電池処理袋	廃乾電池回収袋	300 (1袋10枚入り)	500 (1袋10枚入り) (1枚から販売)
シール	小物ごみ処理用シール	小物ごみ処理用シール	300	500 (1シート10枚)
	粗大ごみ処理用シール	粗大ごみ処理用シール	300	600 (1シート3枚)
	古紙処理用シール	古紙処理用シール	300	500 (1シート3枚)
	—	差額シール	—	200 (1シート10枚)

町農業委員選挙

5月27日、任期満了による町農業委員選挙が行われ、立候補者7人が無投票で当選しました。

まちでは、財政再建に伴い、委員報酬を10%削減しています。また、今回の選挙から委員定数を13人から10人に削減しています。

ここでは、今回当選した7人を紹介します。

※議会推薦、農協推薦、農業共済組合推薦委員は7月号で紹介します。

当選者の皆さん
(50音順、敬称略)
【任期】平成19年6月19日
平成22年6月18日



青砥 昭雄
(福長)



川端 博文
(舟場)



小谷 豊
(下榎)



長尾 宏道
(下黒坂)



長住 武美
(高尾)



松村 譲
(秋縄)



松本 昌明
(本郷)

参加団体・個人募集

生きいき“ひの”ふれあいまつり

10月20日(土)・21日(日)開催

「第30回生きいき“ひの”ふれあいまつり」を開きます。
即売会、芸能発表、作品展示の3部門で実施します。
参加を希望される人はお申込みください。

と き 10月20日(土)・21日(日)
主 会 場 役場庁舎前、文化センター、開発センター
募集团体 農林水産物の展示即売、芸能発表、作品展示を行う団体・個人
参加負担金 1団体・個人につき500円
参加申込 7月31日(火)までに実行委員会事務局(役場総務企画課内 電話72-0331 担当 吉川)までお申込みください



写真は前回の様子



平成19年度 自治会長会議

5月15日、今年度の自治会長会議が町役場で開かれ、各自治会の自治会長が参加しました。

会議では、町長のあいさつの後、今年度のまちの主な事業や取り組み状況などについて、自立政策推進本部および各課から説明されました。

各課からの主な説明事項

●総務企画課から

■全町一斉防災訓練について
今年度は10月6日（土）に行います。

■消防水利の確保について
消火栓や防火水槽、消防用道路などについて、自治会での草刈や除雪などの管理をお願いします。

■災害発生時の避難について
災害発生時の連絡を受けてから避難勧告を発するまで、時間がかかる場合があります。避難勧告が出ていなくても危険だと感じたなら自主避難をお願いします。

■消防団員の確保について
消防団員は、仕事の傍ら日夜訓練に励み、災害時に出勤していますが、年々高齢化し減少しています。消防団活動にご理解いただき、団員の確保にご協力をお願いします。

■土砂災害警戒区域の指定について
県は、平成18年度に土砂災害警戒区域として、土石流143か所、急傾斜地124か所を指定しました。それを受けて、今年度は町

が土砂災害が発生した場合の避難所の指定とハザードマップの作成を行います。

また、板井原川（根雨上町流域）では、浸水想定区域の調査が鳥取県により行われました。こちらも、ハザードマップを作成します。

●産業振興課から

■町道の維持管理について
町道のうちバス路線、通学道路、観光道路は町で草刈を行う予定ですが、交通の支障となる草・樹木など、緊急を要する場合は連絡なく伐採する場合があります。その他の町道については、地域の環境整備、交通安全のうえから各自治会で奉仕作業として行っていたいただきますようご協力ください。

また、道路の破損箇所、修理を必要とする箇所等を発見されたときは連絡をお願いします。

■除雪について
積雪量が概ね20センチを超えたとき除雪作業を行います。消火栓や排雪できない場所、排雪されると都

合の悪い場所については、所有者及び自治会で目印を設置していただきますようお願いします。

除雪車が通行できる高さは最低でも4センチ必要ですので、あらかじめ所有者又は自治会及び管理者で、支障となりそうな木・竹等の確認を降雪時期前（11月中）にしてください。伐採していただきますようお願いします。

なお、除雪作業中、支障となる木・竹等は、所有者に了解を得ず伐採する場合もありますのでご協力をお願いします。

■合併浄化槽の設置について
平成20年度を最後に補助金が出なくなり、平成20年度希望される方は、平成20年度には必ず実施していただきますようお願いします。

なお、平成20年度の実施希望の取りまとめを11月頃に行いますので、漏れのないように申し込んでください。申し込みをされませんと、平成20年度の予算確保ができません。

●教育委員会から

■町民体育祭について
町民体育祭を次のとおり今年度も開きます。健康増進も兼ね、各自治会の活動計画のひとつとして、ふるってご参加ください。

開催日 9月23日（日）
場所 【根雨地区大会】根雨小学校グラウンド、【黒坂地区大会】黒坂小学校グラウンド

■小地域座談会の全自治会開催について
町では、町民憲章をもとに「日野町部落差別撤廃及び人権擁護に関する条例」を制定し、人権尊重のまちづくりを推進してきました。毎年、各自治会のご協力により小地域座談会を開いていますが、昨年度も全自治会での開催にいたっていません。今年度は、7月から座談会の計画をしていきたいと考えておりますので、今後みなさんのご協力をいただき、引き続き人権が尊重されるまちづくりをめざし、全自治会で開いていただきますようお願いいたします。

参議院議員選挙

みんなそろって投票しましょう
投票予定日は、**7月22日(日)**

参議院議員選挙が、7月5日に公示、22日に投票が行われる予定です。
選挙は政治に参加する最もよい機会です。忘れず投票しましょう。

■投票できる人

投票できる人は、昭和62年7月23日以前に生まれた人で、選挙人名簿に登録されている人です。
ただし、転入した人は、平成19年4月4日までに転入届を済ませておく必要があります。

■期日前投票

投票日に仕事や旅行の予定がある人、レジャーや買い物などで投票区を離れる予定の人は期日前投票をしておきましょう。

期日前投票期間 7月6日(金)～7月21日(土)

期日前投票時間 午前8時30分～午後8時

期日前投票場所 日野町役場

また、入院中の人、施設などに入所している人は、病院などで不在者投票ができます。詳しくは病院などにお問合せください。

※郵便投票証明書の交付を受けている人は、郵便による不在者投票ができます。投票用紙などは、7月18日(水)までに、町選挙管理委員会(役場総務企画課内)に請求してください。

■問合せ

町選挙管理委員会(役場総務企画課内)

電話 72-0331

投票予定日の投票時間・投票場所などは、「広報ひのおしらせ版 7月5日号」に掲載する予定です。

■健康コラム

筋力アップで若さを保ちましょう

運動して「貯筋」を ～体力測定の結果から～

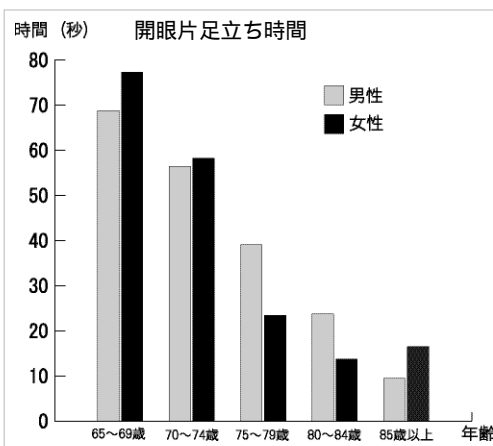
まちが昨年度行った体力測定の結果、右のグラフのとおり高齢者の皆さんは、年齢とともに体のバランスを保つ力が男女とも低下することが分かりました。

これは、片足で何秒立つことができるかを計った結果の平均です。65～69歳では70～80秒ですが、75～79歳では24～39秒と急に下がることがわかります。

こうしたバランス力の低下は、足の筋力が衰えてきたことと関係があります。足の筋力が衰えると歩幅が狭まり、つまづいて転びやすくなります。さらに、けがや病気で寝込むと筋肉量が減りますし、もともと筋肉量が少ない人ほど寝たきりになりやすいという悪循環に陥ってしまいます。

元気でいきいきとした生活を維持するために運動しましょう

- 足の運動＝いすに座って足踏み運動(毎日50回をめやすに)
- バランス力を高める運動＝「片足起立」片手で机などを持ち、片足を軽く上げる(左右各1分ずつ朝・昼・晩に)



■役場健康福祉課 保健師(電話 72-0334)

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題を
お寄せください。
☆役場総務企画課まで（電話72-0331）

アユ2万匹を放流

保育所アユ放流



そっとやさしく放流

6月からのアユ漁解禁を前にした5月10日、保育所園児による稚アユの放流が、黒坂カワコふれあい公園で行われました。
これは、自然とふれあうことで命の大切さを学んでもらおうと、町水産振興連合会（頭本尚憲会長）が毎年主催しているもの。今回は、町内の保育所園児24人が日野川の河原に集合し約2万匹の稚アユを放流しました。園児らは元気に泳いでいくアユたちに「元気に大きくなって」などと声をかけていました。

色とりどりの草花など販売

日野高シヨップ開店



シヨップは、12月までの毎月第2土曜日に開店

日野高校の生徒が授業で作った農産物や加工品などを、毎月1回、出雲街道根雨宿一番館（根雨）で手ごろな値段で販売する「日野高シヨップ」が、5月12日から開店し、記念セレモニーが行われました。
セレモニーでは、郷土芸能部による荒神神楽が披露され、外部での公演を多く行っている迫力の神楽に、約60人の客が喝采を送りました。
その後、生徒が作った草花や豆腐などの商品が販売され、行列ができるなどの賑わいを見せました。



団員の技術の向上のため毎年開催

第1分団が西部大会へ

町消防ポンプ操法審査会

5月13日、町消防ポンプ操法審査会がひのつこ保育所駐車場で開催されました。

審査会は、4人1組の団員が消防ポンプ車を操作し火点に向けて放水、それを終了するまでの動作や所要時間などを競うもの。今回は3つの分団から1組ずつの選手が出場し、日ごろの訓練の成果を発揮しました。

審査の結果、第1分団が1位になり、7月1日に開かれる県西部消防ポンプ操法大会に出場します。

自分の心にも水をやる

人権の花贈呈式

人権意識啓発のため法務省が行っている「人権の花運動」の花の贈呈式が、5月30日、町内の各学校で開かれました。

黒坂小学校では、唐来秀夫校長が「花の世話を通して自分の心も育ててほしい」とあいさつ、町の人権擁護委員からマリーゴールドなどの花の苗が児童に贈呈されました。最後に6年生の木村理沙さんが人との関わりを大切にしていじめをなくしたいとお礼の言葉を述べました。



「大切に育ててください」と手渡し

森林の恵みを守ろう

森林保全ボランティア活動

日野川源流の森林環境を守ろうと、米子市を中心とした市民ボランティア約40人が、5月20日、金持地内の朝刈作業道の保全活動を行いました。

町役場での開会行事では、発起人代表の来間本紘さんが、過疎化が進んでいる中山間地域の皆さんに山を守っていただき、下流に住む私たちは大変感謝している。今後こうした運動を広げていきたい。今日は多くの人に集まっていたいてうれしい」とあいさつしました。

朝刈作業道に移動した参加者らは、昨年7月の豪雨被害で狭くなっていた作業道を手作業で広げるなどの保全作業を行いました。米子市から参加した女性は、ここまで登るのが大変でしたが、作業しながら自然風景も楽しめました」と話していました。



作業には若者も多く参加

計算された色と形に魅了

日野町さつきまつり

丹精込めて育てられたさつき・盆栽が一堂に展示される、第35回日野町さつきまつりが、6月4日から6日までの3日間、山村開発センターで開かれました。

今回は、町内の愛好者が育てたさつき36点と盆栽25点が出品され、来場者らはその見事な出来映えに感心しながら眺めていました。

■受賞者（最優秀賞のみ掲載）
さつきの部（銘木の部）飯島義政さん（黒坂）
盆栽の部 長尾益子さん（野田）



最優秀賞の長尾さんの盆栽（写真左）と飯島さんのさつき（写真右）

長生きは口の健康から

ぽかぽか教室「口の健康教室」

歯の衛生週間に合わせ、「口の健康教室」が、6月8日、山村開発センターで開かれ、根雨6区の老人クラブから10人が参加しました。

今回は、歯科衛生士の森知恵子さん（米子市）の指導で、歯磨きの指導を中心に、歯周病の防止など、口の健康について学びました。

森さんは、「長生きのためには口の健康を保つことが大切。食事の後などに爪楊枝を使うと歯ぐきを痛めてしまい歯周病の原因になるので、歯間ブラシや糸ようじを使うようにしてください」とアドバイス。参加者は歯ブラシを使って実習するなど、口の健康について考えていました。



「歯磨きのときは舌も磨いて」と話す森さん

おしらせ

よなご若者仕事ぐらざ
出前相談会

県では、若者の早期就職や職場定着を支援するため、「若者仕事ぐらざ」を運営しています。このたび、出前相談会を開き、若年者の就職相談を行います。

日時 6月27日（水）午前10時～午後4時

会場 日野町役場 3階

第1委員会室

対象者 概ね35歳未満の若年者、若年者の家族など、就職に関する相談を希望する人

相談内容 仕事が続かない▼仕事の探し方がわからない▼安定した仕事につきたいなど、就職に関する相談

問合せ 鳥取県西部総合事務所県民局「よなご若者仕事ぐらざ」（電話0859-23-4510）

■教育委員会からのお知らせ

平成19年第5回・

第6回町教育委員会開催

5月11日に第5回、6月5日に第6回の町教育委員会を開き、次の議案について審議、承認されました。

第5回

▼議案 平成19年度日野町教育行政施策について

「心豊かな人づくりと薰り高い文化のまちづくりをめざす」こととして、生涯学習・学校教育・社会教育・人権同和教育・芸術文化・スポーツの推進について、具体的に施策を決めました。

▼議案 平成19年度一般会計補正予算書の提出について

6月に開かれる定例議会に提出する予算の補正について審議しました。

▼議案 下榎隣保館運営審議会委員・下榎集会所運営審議会委員の委嘱について

委員の任期が5月17日で満了となるため、同設置・管理条例に基づき、新しく10人の審議会委員を委嘱することとしました。

▼議案 教育委員の辞職の同意について
岡清子教育委員からの辞職願いに同意したものです。

第6回

提出議案はありませんでしたが、今年度の小中学校の学校計画訪問について協議しました。

子どもたちと
遊んでいただける方を
募集しています

近年、児童の減少により、学校から帰っても地域の中で子ども同士遊ぶ機会が少なくなりました。

小学校の子どもたちは歩いて帰る子、バスを待って帰る子、スポーツ活動をする子などそれぞれですが、放課後を使って地域のお年寄りの方、家におられる町民の方と子どもたちとのふれあいができればと考えています。

学校や公民館などの公共施設で、昔の遊び・おはなし・将棋など何でも結構ですので、地域の皆さんの力をお借りして子どもたちの健全育成に努めたいと思います。教育委員会では、そのような皆さんを人材バンクとして登録し、活用していきたいと考えています。

また、家におられるお年寄りの方も、子どもたちと一緒に遊んで「パワー」をもらってください。子どもからお年寄りまでふれあいのできる居場所にしていきたいと思います。ご協力いただける方は教育委員会（電話 72-2107）までご連絡ください。

子どもとお年寄りの居場所（ふれあい）づくりに取り組みます

町子ども育成会議からの提言

地域の子どもたちをみんなで育てよう

5月30日、第3回町子ども育成会議を開き、「小学校教育」をテーマに協議されました。

町内の小学校の現状を各校長から説明を受け、小規模校の特徴や課題について話し合われました。その中で、現状を踏まえ、特色ある学校づくりが必要との提言がありました。

完全学校週5日制の実施による学力低下が叫ばれ、週6日制に戻す議論もある中、家庭教育においても学校と家庭が連携して児童に学習を含めた生活習慣を確立する仕組みが重要との提言を受けました。皆さんの家庭でも、子どもたちに「早寝・早起き・朝ごはん」など規律正しい生活を送るよう話し合いましょう。

また、まちではゆとり教育の一環として土曜日と日曜日に「子ども週末活動」を行ってきました。まちの皆さんがお持ちの趣味・特技・技術などを生かして続けていきたいと思いますので、ご協力と参加をお願いします。

かけがえのない日野町の子どもたちを地域みんなの手で育てていきましょう。



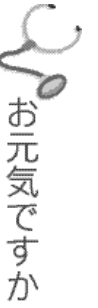
鳥居敏子氏



緒形尚子氏

新しい教育委員 を任命

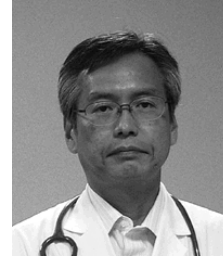
任期満了・辞任に伴い、6月5日付で新たに緒形尚子氏（根雨）と鳥居敏子氏（黒坂）が教育委員に任命されました。



日野病院です

病院長のひとりごと

入院患者数について



日野病院長 樋田 豊

今回は入院患者さんについてお話しします。

図1は、平成13年度からの一般病床と療養病床の入院患者延数の年次推移を示したものです。療養病床とは主に慢性期の疾患を扱う病床です。

日野病院は平成12年の新病院開設以来一般病床117床の体制でしたが、平成15年8月にそのうちの16床を療養病床としました（残り101床は一般病床）。しかし、平成18年8月にはその療養病床を廃止、同時に一般病床を99床に減らしました。療養病床を廃止したのは、日野病院組合が平成18年6月から江府町老人保健施設「あやめ」の指定管理を行うことになり、療養病床の存在意義が少なくなったからです。さらに、夜勤体制を6人から4人にしたため、

看護師の配置に余裕が生じることも療養病床を廃止する大きな理由となりました。その結果、「あやめ」への看護師の増員が可能になりました。

図に戻りましょう。一般病床と療養病床を合わせた総入院患者延数は3万3千人前後で推移していましたが、平成18年度に急に3万人台を割り込みました。その理由は、図

から明らかのように療養病床が廃止されたためです。総入院患者延数の減少は入院収益の減少を意味します。しかし、自治体病院が病床数を削減した場合に普通交付税の算定は削減前の病床数で行なわれること（平成17年度から5年間）、「あやめ」への病院職員の異動により病院事業における給与が減少すること、一般病床を99床としたために外来患者に係る特定疾患療養管理料が増額になることなどから、私も総入院患者延数が減少しても病院事業の収益的収支に対する影響は少ないと予想しておりました。そして実際に、平成18年度決算分析で

それを確認いたしました。

療養病床を廃止する際にもう一つ心配された点は、一般病床で長期入院患者が増加するために病床利用率は上昇するものの、平均在院日数が延長するのではないかというものでした。病床利用率はベッドの利用の程度を示す指標で、平均在院日数とは入院患者の入院から退院までの平均的な在院期間を示す指標です。平均在院日数は入院基本料の算定要件であり、一定の日数以上に延長すると入院基本料が減額され入院収益が減ることになります。

図2には、一般病床の平均在院日数と一般病床と療養病床を合わせた病床利用率の年次推移を示しました。平均在院日数は平成16年度（26・6日）から平成17年度（21・9日）にかけて大きく減少いたしました。その理由として、病院全体としての平均在院日数短縮への取り組みに加え、平成16年6月より亜急性期病床が導入されたことが挙げられます。亜急性期病床とは、急性期と慢性期の中間に位置する疾患を対象に最高90日間入院ができる病床です。亜急性期病床に入院した患者さんは平均在院日数算出計算の対象外患者となります。

さて、平成18年度の平均在院日数はどうかというと、20・9日と、平成17年度よりさらに減少いたしました。一方、病床利用率は、平成17年度（74・4％）に比べ、平成18年度（76・1％）の上昇はわずかでした。これらの結果は平成18年度は平成17年度に比

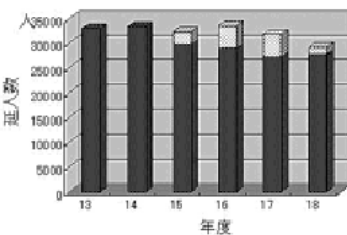


図1. 入院患者数

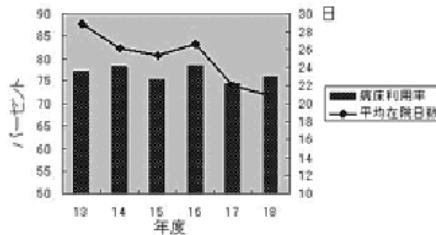


図2. 平均在院日数と病床利用率の推移

べ一般病床の回転率が上昇、しかも一般病床へ入院する患者さんの数が増えたことを意味しています。実際、一般病床に限れば、平成17年度の入院患者延数は2万7246人であり、平成18年度は2万7692人でした。総入院患者延数が減少したにも関わらず、病床利用率を維持しながら平均在院日数を減らすことができた理由は、「あやめ」はもちろん、その他の施設、近隣の診療所との連携が強化されたためと考えています。平均在院日数が21日以内となったため、日野病院の入院基本料は平成19年1月から増額されました。

以上のように、平成18年度の総入院患者延数の減少は憂慮される事態ではなく、経営的には有効なダウンサイジング（規模の縮小）となりました。しかしながら、一般病床への入院患者はむしろ増えたことから新たな問題も生じています。それは、「あやめ」への異動により病院職員、特に看護師数が減少したため、結果として看護師1人あたりの負担が増しているというものです。看護師の確保は日野病院の行方を左右する大きな課題の1つです。

日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouninkan@town.hino.tottori.jp



まちの現状を皆さんに理解いただく

町財政の現状を学ぶ 第2回おしどり学園

5月18日、町公民館で第2回おしどり学園を開きました。今回は、「日野町の行財政について」と題して吉留副町長が講演し、「日本経済の長期低迷などの影響で国の財政状況が弱くなったので、地方財政も厳しい状況になってきた。そのような状況の中、鳥取県西部地震で日野町は甚大な被害が発生したため、災害復興・復旧のために多額の借り入れをしたことなどにより、町

財政が少しずつ悪化しはじめた。そのため人件費削減、あらゆる事業の見直しなどを行い経費削減を図るとともに、一方では公共料金の値上げなどをしたが、収支の推計では平成18年度から赤字になる見込みで、平成22年度まで赤字が続く、平成23年度から黒字になる見込みです」と話しました。

一日も早く赤字から脱出するためには、さらに経費削減に取り組みとともに、収入確保にも取り組むことが必要です。また、健康づくりなどにより医療機関にかからないことも、医療費削減になり町財政に貢献できますので、今後町民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

第4回おしどり学園のご案内
日時 7月20日（金）午前9時30分

場所 町公民館
内容 町人権センターについて（講師「町人権センター所長 川上博史氏」）
その他 当日は町営バスを臨時運行します。

▼郡社会教育協議会総会

5月31日、ゆきんこ村（日南町）で平成19年度日野郡社会教育協議会総会が開かれました。

同協議会は、日野郡の社会教育の振興を図ることを目的に、郡内の社会教育委員、社会教育関係団体、教育委員会事務局などで組織されています。

総会では、平成18年度事業報告及び決算では、郡社会教育研究大会、公民館部会研修会の開催などの報告。平成19年度事業計画及び予算の説明。研修会では多里まちづくり推進協議会が「子育てしやすい地域を目指して」と題して地域の取り組みを発表し、参加者は認識を新たにしました。



高校生にマナーアップを呼びかけ

▼町青少年育成会総会

5月9日、町公民館で平成19年度日野町青少年育成会総会を開きました。

総会には、町内の青少年の健全育成のため、町内各学校長、各学校PTA会長、黒坂警察署、交通安全母の会などの会員が参加。平成18年度事業報告及び決算では、街頭指導パトロールの実施、犯罪

被害者支援講演会（夜回り先生）、高校生マナーアップさわやか運動、「子ども居場所づくり・相談コーナー」の設置などの事業を行いました。平成19年度事業計画では、「子どもかけこみ110番」の設置推進、「家庭の日」運動の普及、ノーテレビデーの普及推進などの事業を計画していることを報告。委員からは「平成18年度には町社会福祉協議会から寄付があったが、平成19年度も寄付があるか、予算は使い切るか」などの質問が出ました。今後もお金がかからないよう、出来ることから、皆さんにご理解、ご協力をいただいて事業を展開していきます。

シリーズ 子どもの「食」と健康 第1回

食事と学力の関係

平成17年度の基礎学力調査の結果、家族と一緒に食事をとる子どもたちのほうが学力が高いという傾向があり、また、朝食と学力には関係があることがわかりました。これは、家族一緒に食事をとることでの心の安定を保ち、コミュニケーション能力を培うことができ、それが見えない学力となり、差となって現れてくるからではないでしょうか。

また、家族一緒にそろえばよいというものではなく、栄養のバランスがとれていることはもとより、家族の愛情がこもった食事であり、その食卓が子どもにとって、安らぎの場でなければならぬと思います。



前回の教室の様子

料理にチャレンジしてみよう

男性の料理教室を開きます

男性を対象にした料理教室を開きますので、料理づくりに興味のある人はぜひご参加ください。

日時 7月15日(日) 午前9時
場所 町公民館
定員 15人
参加費 1人 500円
持参品 エプロン、三角巾、タオル
申込み 7月6日(金)までに町公民館へ電話で申し込んでください。なお、定員になり次第締め切ります。
問合せ 町公民館 (電話 74-0212)



「学校だより」コーナーを設置しました



根雨小学校、黒坂小学校は学校の話、行事などを学校だよりに掲載し、保護者などに配布しています。町公民館にも「学校だより」コーナーを設置し、多くの町民の方に見ていただくようにしましたのでご覧ください。

町公民館の使用手続き

公民館を使用される方は、使用する3日前までに申請書を公民館へ提出してください。

- 使用できる日：年末年始(12月29日から1月3日)を除く日
- 使用できる時間：午前8時30分から午後10時まで
- 料金：町使用料条例による額

ロビーは、午前8時30分から午後5時30分まで開放しています。図書室もありますので、お気軽にお立ち寄りください。

ロビー展のお知らせ

白磁工房

ムーンドロップ作品展

6月30日(土)まで

さつき・盆栽研究会作品展

7月5日(木)～30日(月)

展示場所 町公民館ロビー

展示時間 午前8時30分～午後5時30分

○ロビー展出展者募集○

町公民館ではロビー展出展者を募集しています。出展を希望される方は、町公民館(電話 74-0212)までご連絡ください。

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1

電話：72-1191 (FAX兼)

E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



パソコンを使った食生活診断も好評でした

初めての出張指導というこ
ともあり、地区内外から約50
人が参加、熱心に話を聴いた
り、血管年齢測定や高齢者に
多い肩こりやひざの痛みを防
ぐためのストレッチを全員で
体験しました。
この教室を通じて、「元気で
老いるために」これからの生
に学んだことを活かし、一人
でも多く寝たきりを防ぎたい
ですね。

健康教室を、老人憩の家で開きました。
5月24日、隣保館事業の一環として、日野病院の協力による
日野病院の榎田院長をはじめ、看護局長、臨床検査技師、管
理栄養士、理学療法士を迎え、健康や栄養、運動についての
話と指導をしていただきました。

健康教室

寝たきりを防いで元気に



色とりどりの作品が出来上がりました

5月11日、ぽかぽか教室を
老人憩の家で開きました。
この日は、南部町の「ノーム
の糸車」の指導員や作業所の皆
さんに教えて頂きながら、羊
毛フェルトを使った壁飾りや
ぬいぐるみを作りました。
参加者のほとんどが、羊毛
フェルトでの作業は初体験で、
出来上がったフワフワの作品
に心が和んだようです。

ぽかぽか教室

フェルトの小物づくり

7月の学習講座予定

- 編み物 14日(土) 午後7時～
老人憩の家(講師 安達利子さん)
- 生け花 17日(火) 午後7時30分～
下榎集会所(講師 生田清子さん)
- 木工 18日(水) 午後1時30分～
下榎集会所(講師 柴田三千明さん)
- リフォーム 28日(土) 午後1時30分～
下榎集会所(講師 足羽鈴子さん)



真剣にいていないに

小学生の学習会では、地域の
小学生の2回にわたって竹細工
石田三千人さんを講師に、24
人が水鉄砲、紙玉鉄砲、竹と
んぼづくりを挑戦しました。
小刀を初めて使う子どもも
多く、最初はおそろい竹を
命取り組んでいましたが、一
後は、自分だけの手づくり
おもちゃで夢中になって遊
んでいました。

榎の実学習会

竹細工づくり

■地区内清掃と運動会
6月3日、下榎地区で地区内清掃と体力づくり運動会が開かれました。
下榎では、梅雨入り前に地区内をきれいにしようと、毎年この時期に清掃活動をして
います。
主に雨水の流れをよくするために水路をきれいにしています。
午前8時から約2時間で作業は終了。その後、地区の一番北側にある広場で体力づく
り運動会が行われ、日ごろの運動不足解消に一役かかっていました。
水入れや、ワンバウンドでかごにボールを入れる競技など、子どもからお年寄りまで
約100人が参加、すがすがしい汗を流して笑いの絶えない楽しい運動会になりました。



「組み木は積み木と違い頭を使うので難しい」と話す小黒さん

木のおもちゃ出前教室を開きました ～組み木作家小黒三郎さんを迎えて～

6月5日、世界的な組み木作家、小黒三郎さん（倉敷市）を講師に迎え、根雨小学校6年生22人に木のおもちゃ出前教室を開きました。

参加した6年生は、「動物の親子」をテーマに組み木をデザインするところから、糸のこで切り、色付けして完成するまでを小黒さんのアドバイスを受けながら体験し、「手」「頭」「心」を使つてものづくりをする楽しさを学びました。

▼出来上がった作品は、6月29日（金）まで図書館に展示しています。

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

図書館の展示コーナー

人権について考えよう!!

標語とパネル展

- 7月1日（日）～9日（月）
・人権標語、人権の花など、町人権センターの取り組みを紹介します
- 7月11日（水）～23日（月）
・人権パネル展

期間中は、人権に関する図書の展示も行います（貸出しできます）

●木のおもちゃづくり

7月22日（日）10：00～

場所：図書館車庫

●図書館おはなし会

7月21日（土）10：00～

場所：図書館絵本コーナー

■絵本の読み聞かせ、わらべうた、おはなしなど（無料）

●サイエンスアカデミー講座

7月28日（土）10：30～

場所：図書館資料コーナー

■テーマ：未定

7月のホールイベント

■お芝居くらぶさん・ふーいーるど公演
「時空探偵 八神駿一朗」
「星の光が君に届くまで」
7月7日（土）午後7時開演
8日（日）午後2時開演
入場料 小学生以上500円
（当日800円）
チケットは、文化センター・図書館で取り扱っています。



■日野郡バンドフェスティバル

7月28日（土）午後2時～（入場無料）

▼郡内中学校の吹奏楽部と県警音楽隊の演奏をお楽しみください

■千葉真子さん講演会「命を輝かす人間」

7月28日（土）午後7時～（要整理券）

問合せ：鶴の池マラソン実行委員会（電話 72 - 2107）

■日野川合唱フェスティバル

7月29日（日）午後1時～（入場無料）

▼日野川流域の7団体が出演。美しいハーモニーをお楽しみください

●町歴史研修会公開講座

と き 7月19日（木）午前10時～午前11時30分

ところ 山村開発センター・研修室

テーマ 「黒坂城ものがたり」

講師 牧智也さん

おひさまひろば

だより



ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、毎週水曜日の午前9時～午前11時まで、ボランティアの方の協力もあり、親子で楽しく遊んでいます。

おひさまひろばの時間設定は次のとおりです。

時 間	内 容
9 : 00 ~ 11 : 00	受付 (随時受付しています)
9 : 00 ~	絵本読み、室内おもちゃ遊び (積木、ブロックなど) ふれあい遊び (わらべうたなど)
9 : 30 ~	一斉活動
10 : 00 ~	外遊び (雨天時: 室内遊び)
10 : 40 ~	片付け・ティータイム (各自持参)
10 : 50 ~	支援室掃除、次回日程打ち合わせ
11 : 00 ~	あいさつ (終了)

梅雨前の蒸し暑い日が続いています。

5月はお天気がよく、外でボールけり、ブランコ、すべり台などでゆっくり遊びました。町公民館まで出かけたときは黒坂保育所にも行き、短時間でしたが砂場で遊びました。今年度に入ってから、毎週5～6組の親子で楽しく遊んでいます。

7月は水遊びの季節です。着替えと帽子、飲み物を準備して、お友だちを誘って遊びに来てくださいな。

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田

(電話 72 - 0238)

● 7月の予定

7月4日(水):七夕飾りづくり(保健師による子育て相談日)

7月11日(水):折り紙遊び(町公民館で開きます)

7月18日(水):図書館からのおはなし会

7月25日(水):水遊び(砂場)

みどり児のあくびまあるき花の昼(講師) 谷悦子
琴の音に合わせ藤寺藤ゆるる 安達つるゑ
雨止むや囀りの又湧く如し 荒木 習子
静の舞ふ八幡舞殿牡丹燃ゆ 勝瀬 京子
老鶯も間近に侍る山日和 川上 文子
万緑に流されそうな峽に住み 久城 霞溪
池に浮く古りし社殿や新樹光 徳本千鶴子
著我咲くや「砂の器」の地の哀し 真壁富貴枝

(五十音順)

こころの散歩道

日野町俳句同好会 選

■ 介護入門講座 受講者募集

米子市社会福祉協議会では、介護技術のポイントや基本を学ぶ「介護入門講座」を開きます。

開催日時	内 容	講 師	会 場
7月11日(水) 10:00～15:00	実技を中心とした さっぱり部分浴 (足浴・床ずれ予 防など)	看護師	ふれあいの里 (2階実習室)

定 員 30人(定員になり次第締め切り)

受講料 無料

講座内容・講師など変更する場合があります

申込み・問合せ 米子市社会福祉協議会 鳥取県西部地域介護実習普及センター(米子市錦町1-139-3、電話 0859-23-5470)

編集後記

■昔のことをいろいろお聞きした杉井久子さん。ご高齢にも関わらずとてもお元気で、開口一番「いつ来てくれるのかと待ってたのよ!」と、話したくてウズウズされているようでした。■口跡もはっきり、凛とした雰囲気。杉井さん。男役時代(?)の面影が垣間見えるようでしたよ。(i)

おくやみ
ご冥福をお祈りします

(氏名)	(年齢)	(住所)
大田 芳子	60歳	金持
松本 紀幸	67歳	濁谷
山吹 正	77歳	舟場

(出生児)	(保護者)(性別)(住所)
石田 麻央	大介・絵里 女の子 下榎
住友 迅太	英行・友美 男の子 野田
水谷 大輔	修一・美鈴 男の子 上菅

届出 5月11日～6月10日 敬称略

5月31日現在

わたしの町

(前月比)

人口	4,160人(-13)
男性	1,945人(-6)
女性	2,215人(-7)
世帯	1,560戸(-4)

基本健康診査・肺がん・胃がん・大腸がん検診の受付時間

ミニギャラリー情報（町内の展示コーナーを紹介します）

- 日野病院展示コーナー 「水彩画展」～6月末まで
- 山陰合同銀行根雨支店 「セルプひの入所者作品展」～7月6日まで
- 蔵美術館 「長楽寺の仏像写真展」～7月31日まで
- 県西部地震展示交流センター 「豪雨水害と土砂災害、被災地支援活動写真展」～7月27日まで

出納室	72 - 2105	健康福祉課	72 - 0334
公民館	74 - 0212	議会事務局	72 - 0335
文化センター	72 - 1300	給食センター	72 - 1167
黒坂保育所	74 - 0225	下榎集会所	72 - 1191

町長の定期便

第15回

本日の平和とは

5月8日、私は東京で開かれた全国日本赤十字大会に参加し、そこで黒柳徹子さんの講演を聞かせていただきました。

演題は「世界の子どもたち」。黒柳さんは、アフリカ、アジアの一部の国で起きている実情を話されました。大人たちの争いのもとで村を追われ、国を追われる中で、子どもたちが犠牲となり悲惨な状況にあるというお話でした。

その中で黒柳さんは、子どもたちは精いっぱい生き抜いていること、不平不満を述べるでもなく、いつ消えるのかわからない自らの命を大切にしていることを切々と訴えられました。また、お別れするとき、子どもらは自分たちのことで遠い国から来てくれたことへの感謝の気持ちを伝えてくれたとのことでした。

今の日本の現状と比べてみてどうでしょうか。物は余るほどあり、欲しいものはたいてい手に入る時代となり、私たちは自由を満喫していますが、新聞・テレビは毎日のように凶悪な事件を伝えていきます。本当に平和で幸せと言えるのでしょうか。どこかが狂っていると思えてなりません。余りにも自己中心の考えになり、人を思う気持ちが欠け、アフリカの子どもたちに比べて、今の日本の子どもたちは本当に幸せなのでしょうか。皆さんはどう思われますか。私は大いに考えさせられました。

我が日野町においては、安全で安心な生活が保障されるよう、皆で思いやり、助け合って生きていけるまちにしようではありませんか。この美しい自然環境の中で楽しく生活できたら、と思う今日このごろです。（6月6日記）

日野町長 景山 享弘

町食生活改善推進協議会さん オススメ料理 ④

天ぷら粉で手軽に
香ばしいアーモンドが食欲をそそります



鶏肉のアーモンド揚げ

【材料】4人分

- 鶏ささみ（8本＝320g）
- A【酒（大さじ1）、塩（小さじ1/2）、こしょう（少々）】
- B【天ぷら粉（120g）、水（適量）】
- スライスアーモンド（80g） ●揚げ油（適量）
- サラダ菜（40g） ●パプリカ（適量）

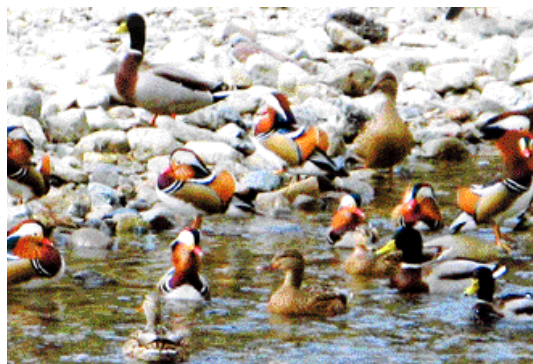
【作り方】

- ①鶏肉は軽くたたきAで下味をつける。
- ②Bを混ぜて天ぷらの衣を作り①につけ、アーモンドをまぶす。

170℃に熱した油で②を揚げる。

パプリカは薄く切ってラップで包み電子レンジにかける。

皿にサラダ菜をしき、③、④を盛り合わせる。



『マガモもオシドリも仲良し』
撮影 ● 高見実治さん（兵庫県朝来市）

【連絡先】 オシドリグループ事務局
森田（電話72 0271）

黒坂のカワコ公園や日野川でマガモの親子が遊んでいます。宇田さんご夫妻をはじめ周辺の方が見守っておられます。今年も沢山のヒナが誕生しました。天敵はカラス。卵の時から狙って来ます。食物連鎖、弱肉強食の世界。それでもヒナは大きく成長しています。これは地域の皆さんの力と言っても過言ではありません。自然環境が良く心優しい人がいる町を次世代へ力強くつないでいきます。オシドリは北帰行中。小屋周辺ではホタルのシーズンです。

マガモのヒナ
オシドリ
にゅるす

VOL. 112

